

<質問1> (小児の接種状況について)

新型コロナウイルス感染拡大から3年が過ぎました。ここ最近では感染者数も減少傾向となり、社会活動も「3年ぶり」に再開される地域も増えてきて、少しずつコロナ前の生活を取り戻しつつあります。また、大人のワクチン接種も4回目が始まりました。大人だけでなく5歳から11歳までの小児へのワクチン1・2回目接種も始まり、もう4か月になります。子どもの接種も新型コロナウイルス感染拡大防止のためときいておりましたが、なかなか接種が進んでいないとの報道も目にします。そこでお尋ねいたします。

現在の小児のワクチン接種状況はどうか、お聞かせください。

<答弁1:ワクチン接種体制整備室長 >

5歳から11歳までの小児の方へのワクチン接種の状況について、現在、愛知県には、約47万9,000人の小児の方がいます。2月28日から小児へのワクチン接種を実施しておりますが、6月27日(月)時点の接種状況は、1回目接種が68,114回で、接種率は14.21%、2回目接種が63,156回で、接種率13.17%となっております。

<質問2> (小児用ワクチンの安全性について)

小児のワクチン接種があまり進んでいないのは、お子さんやその保護者の方がワクチン接種後の副反応を心配に思うことも一因であると思います。特に保護者自身が、その副反応に苦しんだという方は、子どもにも同じ思いをさせたくないと思われてしまうのでは、と思います。そこでお尋ねします。

小児の場合、接種後の副反応はどういった状況なのか、お聞かせください。

<答弁2:ワクチン接種体制整備室長 >

今年6月に国の「予防接種・ワクチン分科会」の「副反応検討部会」が開催され、その中で「5～11歳の小児を対象にした健康状況調査」が中間報告であるが示されました。その内容によると、2回目の小児接種後1週間に、11.3%の方に37.5℃以上の発熱、77.4%の方に腕の痛み、22.6%の方に倦怠感、14.5%の方に頭痛といった症状がみられました。ただ、いずれにしても深刻な症状ではなく、いずれの副反応も小児は大人と比較しても、発生頻度が低かったというデータとなっております。

＜質問3＞（小児へのワクチン接種の取組について）

小児接種の実施については、肯定、否定、双方の意見がありますが、若い世代への感染の拡がりを見ると、愛知県としては、小児へのワクチン接種体制を整備し、希望するすべての方への接種を進めていく必要があると思います。私も幼児教育の現場にありますが、まだ時々コロナ陽性者のお子さんが出ますし、親が感染して幼稚園に來れなくなってしまうお子さんがみえます。感染予防対策の一つであるマスク着用も熱い夏に向かって熱中症の心配もあり、どのタイミングではずすのか教育現場での混乱もあります。早くコロナウイルスの収束を願うばかりです。そこでおたずねします。

今後、小児へのワクチン接種率を高めていくことに対し、どのように県として取り組んでいくのか、お聞かせください。

＜答弁3:ワクチン接種体制整備室長 ＞

まず、県では、接種の取組として、小児へのワクチン接種を実施していただく医療機関に対して、通常の接種料に上乗せする形で、接種1回当たり1,000円の支援金を交付しております。障害児の方が利用する入所施設等に対して巡回接種を行っていただく医療機関に対して、また、在宅療養中の障害児の方に訪問接種をしていただく医療機関に対して、施設への巡回接種では1回当たり1,000円、ご家庭への訪問であれば、訪問1回当たり10,000円の県独自の財政支援を行っています。

県の大規模集団接種会場、4会場においても、小児へのワクチン接種を実施し、市町村の小児接種を後押ししております。また、先ほど、委員からご指摘のあった副反応に対する心配、不安への対応として、今年3月から新たに「あいち小児保健医療総合センター」に専門相談窓口を新規開設し、県内、計11か所の大学病院等、専門的医療機関において、接種後の副反応等の相談にきめ細やかに対応しています。

保護者の方、お子さんの双方にワクチン接種を正しく理解していただけるよう、県のウェブページに、小児接種についての専用ページを立ち上げるとともに、接種の効果や安全性だけでなく、副反応等が実際に出た時にどこに相談するのかという情報を掲載した啓発リーフレットを10万部作成して、県内の小学校や幼稚園、保育園、児童館、放課後児童クラブなどに配布しているところでございます。

引き続き、市町村、医療機関、医師会等と連携を図りながら、小児へのワクチン接種を円滑かつ安全に実施してまいりたいと考えております。

要望：

最期に要望いたします。5月18日には2718人だった新規感染者数は減少を続け、6月20日までは前の週をずっと下回っており、275人まで下がりました。ところが翌日の21日からは前の週を全て上回って新規感染者数が増えており、またじわじわとコロナの感染が広がっています。手指の消毒やマスク着用の感染予防対策も慣れてしまって緩みがちな傾向だと思えますし、ここ最近の猛暑ではマスク着用で熱中症になるかもという心配も出てきました。

また教育委員会からはマスク着用について、以前ほど厳しくなく、どちらかと言えば着用は強制しない方向に進んでいます。登下校時や体育の授業はもちろんはずしますが、戸外で人との距離がある場合は外しても大丈夫と言われ、特に幼稚園や保育園では現場でかなりの戸惑いがあると伺っております。相変わらず根強くワクチン接種反対やマスク着用反対の人々もおみえになり、ワクチン接種も4回目をはじめりましたが、これ以上接種を呼びかけても数字が上がっていくのか不安です。

それでもコロナとの闘いはまだまだ続きます。県民の皆様にしっかりと情報が伝わるよう、正確かつ最新の情報をしっかりと発信していただきたい。市町村・医療関係・医師会等ともしっかりと連携を図りながら、ぜひ、感染防止対策に引き続き力をいれていただくことを要望して質問を終わります。